

予算の執行状況

平成15年度予算の執行見込みをお知らせします。決算(確定)の内容は、市議会の認定を受けた後、12月号に掲載する予定です。

【詳細】 財政部
☎211-2216

平成十五年度は、市長と市議会議員の選挙が予定されていたことから、一般会計の当初予算については、義務的な経費や毎年継続して行っている事業を中心に七千四百八十八億円を計上しました。

新市長就任後には、経済・雇用対策、地域福祉の推進などの重点課題に対応する事業や、市民自治の実現、市役所改革推進のための経費など、六百二十億円を新たに計上しました。

その後、地域経済対策や生活保護などに要する経費について増額したほか、職員給与条例を改正して給与に係る経費を二十六億円減額するなどの補正を行いました。

これら計八回、総額九百八十八億円の補正の結果、最終予算額は八千四百六億円(対前年度比2・2%減)となりました。

予算の執行に当たり、歳入面では市税などの確保に努める一方、歳出面では経費の削減を図ることなどにより、予定していた財政調整基金の取り崩しをすることができなく、今後に備えることができる見込みです。

特別会計では、国民健康保険会計、老人医療会計、公共用地先行取得会計および砂防用地先行取得会計で収支不足が生じ、十六年度の歳入に繰り上げて十五年度の歳入に充てる繰上充用を行う見込みです。

企業会計では、交通事業会計において、バス事業の民営移行に伴い、平成十六年三月三十一日をもって市営バスの営業を終了しました。

※「財政調整基金」とは、年度間の財源の不均衡を調整するための基金です。

■表2 企業会計の決算見込み

区 分	収益的		資本的		
	収入	支出	収入	支出	
病院事業会計	予算現額	20,584	22,405	1,552	1,995
	執行済額	20,857	21,883	1,552	1,994
中央卸売市場事業会計	予算現額	2,180	2,752	3,679	4,930
	執行済額	1,970	2,361	2,951	3,848
交通事業会計(電車・バス)	予算現額	5,411	8,047	538	294
	執行済額	6,143	7,991	2,014	273
高速電車事業会計(地下鉄)	予算現額	48,531	60,931	28,881	41,561
	執行済額	48,293	57,879	23,390	37,388
水道事業会計	予算現額	46,447	45,715	9,174	23,398
	執行済額	45,617	43,923	8,950	22,661
下水道事業会計	予算現額	47,829	48,671	28,955	45,488
	執行済額	47,217	47,208	27,306	43,833

※収益的収支：企業の経営活動に伴い発生する収入と支出。収入＝料金収入など。支出＝営業費用、企業償還費(利子)など。
 ※資本的収支：企業の将来に向けた経営活動に備えて行う建設改良などに係る収入と支出。収入＝企業債など。支出＝建設改良費、企業償還費(元金)など。

■表1 一般会計における主な歳入・歳出の決算見込み

区分	科 目	予算現額	決算見込額
主な歳入	市 税	258,000	258,511 (139,762円)
	国庫支出金	132,761	126,155
	諸 収 入	126,532	116,298
	地方交付税	109,693	115,692
	市 債	100,218	91,894 (49,682円)
主な歳出	保健福祉費	188,145	184,492
	諸 支 出 金	135,526	129,694
	土 木 費	125,102	111,739
	職 員 費	109,196	109,105
	公 債 費	97,434	96,109

※()内は市民一人当たりの金額(決算見込額を本市の平成16年3月31日付住民基本台帳人口1,849,650人で除して算出)。

■表5 一時借入金の現在高

区 分	現在高
一般会計	0
特別会計	493
企業会計	2,016
合 計	2,509

※一時借入金：年度の途中で、収入と支出の時期のずれから一時的な資金不足が見込まれる時に、その不足を補うために銀行などから借り入れる資金。

★表3、4、5は平成16年3月31日現在

■表4 基金の現在高

区 分	現在高
減債基金	112,073
土地開発基金	70,237
まちづくり推進基金	19,809
財政調整基金	14,510
その他の基金	12,798
合 計	229,427

■表3 市債の現在高

区 分	現在高
一般会計	1,186,042
特別会計	6,948
企業会計	1,086,852
合 計	2,279,842